



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、2015 年第 4 四半期および通年の決算を発表

四半期、通年とも過去最高の収益を達成

※米国本社発表の業績プレスリリースは[こちら](#)をご覧ください

【2015 年 12 月 11 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2015 年 12 月 10 日）： Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、2015 年度第 4 四半期（2015 年 8 月 29 日から 2015 年 11 月 27 日）および通年（2014 年 11 月 29 日から 2015 年 11 月 27 日）の決算を発表しました。

第 4 四半期の業績ハイライト

- 収益は過去最高の 13 億 1,000 万ドル、前年同期比 22%増。
- GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、0.44 ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、0.62 ドル。
- デジタルメディア分野の年間の経常収益（Annualized Recurring Revenue - ARR）は 29 億 9,000 万ドルに拡大し、3 億 5,000 万ドルの増加。クリエイティブ分野の ARR は、企業での普及が進み、Adobe Creative Cloud の有料サブスクリプション件数が個人版・グループ版合わせて 83 万 3,000 件の純増したことで 3 億 1,000 万ドル増加し、26 億ドルに拡大。
- Adobe Marketing Cloud の収益は、契約数の堅調な伸びと、予想を上回る SaaS 型ソリューションの普及により、3 億 5,200 万ドルを達成。
- 前年同期比では、GAAP ベース営業利益率が 133%増、GAAP ベース純利益が 153%増。Non-GAAP ベース営業利益率は 58%増、Non-GAAP ベース純利益率は 59%増。
- 営業キャッシュフローは 4 億 5,500 万ドル、繰延収益は過去最高の 14 億 9,000 万ドルに拡大。
- 当四半期中に約 140 万株を買い戻し、約 1 億 2,200 万ドルの現金を株主に還元。

2015 年度の業績ハイライト

- 通年の収益は過去最高の 48 億ドル、前年比 16%増。
- 通年の GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、1.24 ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、2.08 ドル。
- デジタルメディア分野の ARR は、前年比 11 億 2,000 万ドル増加し、29 億 9,000 万ドルに拡大。Creative Cloud の有料サブスクリプション件数は、個人版・グループ版合わせて 271 万件以上増加し、617 万件に拡大。
- Adobe Marketing Cloud の収益は、通年で過去最高の 13 億 6,000 万ドルを達成。年間契約件数約 30%増も達成。
- 営業キャッシュフローは 14 億 7,000 万ドル。
- 当年度中に 810 万株を買い戻し、約 6 億 2,700 万ドルの現金を株主に還元。

役員のコメント

アドビの社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayen）は、「アドビはあらゆるグローバル ブランド、政府機関、教育機関の変革を根底から支えるデジタル エクスペリエンスを推進しています。過去最高の収益を実現できたことは、アドビのコンテンツとデータソリューションがデジタルメディアとデジタルマーケティング分野において業界を牽引していることを示唆しています」と述べています。

アドビのエグゼクティブバイスプレジデント兼 CFO であるマーク ギャレット（Mark Garrett）は、「2015 年度を通じて実現したすばらしい業績により、重要な財務指標すべてで大きな伸びを記録できました。2018 年度までの年平均成長率 20%など、アドビの長期的な財務目標は、クラウドへの移行がまだ始まったばかりであることを意味しています」と述べています。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した、事業の好調さ、製品採用および開発、収益、年間の経常収益、受注件数、1 株当たりの利益および営業キャッシュフローに関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 顧客の要求に応える製品およびサービスの開発、市場投入、流通の失敗
- 競合他社による新製品およびビジネスモデルの市場投入
- 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- サブスクリプションサービスの更新比率の変動
- サイバー攻撃と情報セキュリティに関連するリスク
- アドビもしくは第三者によって提供されるホステッドサービスに障害または遅延が生じる可能性
- 経済状況および金融市場の不確実性
- 過去および将来の買収において見込まれた利益達成の失敗

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、2014 年 11 月 28 日を末日とする 2014 事業年度のアドビの年次報告書（Form 10-K）および 2015 年度に発行されたアドビの四半期報告書（Form 10-Q）をご参照ください。

プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビが 2015 会計年度（2014 年 11 月 29 日から 2015 年 11 月 27 日）について 2016 年 1 月に提出予定の年次報告書（Form 10-K）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。

アドビはこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

Adobe and the Adobe logo, Adobe Marketing Cloud and Creative Cloud are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

© 2015 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.